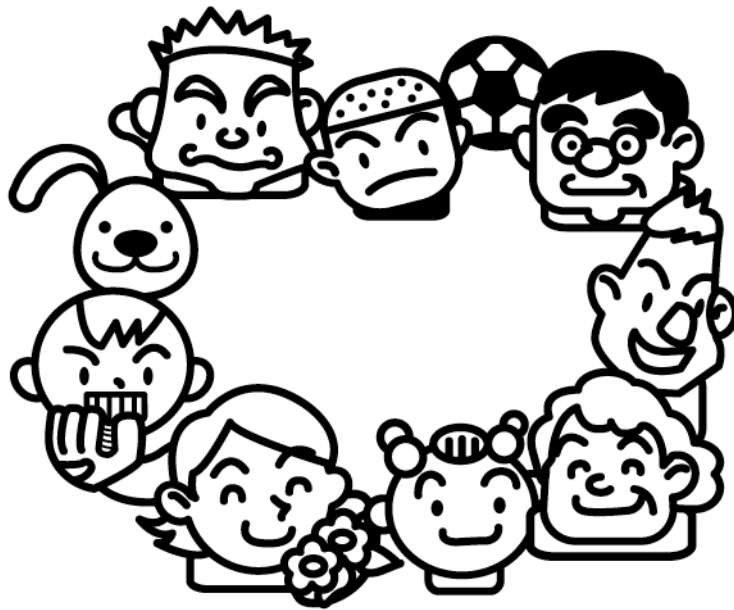


東近江市 ことばの教室



《八日市南小学校教室》

〒527-0034 東近江市沖野 3 丁目 6-1
東近江市立八日市南小学校内
TEL : 0748-20-5817 (直通)
FAX : 0748-20-5818 (直通)

《能登川東小学校教室》

〒521-1204 東近江市小川町 30
東近江市立能登川東小学校内
TEL : 0748-42-8211 (直通)
FAX : 0748-42-8212 (直通)

《湖東保健センター教室》

〒527-0113 東近江市池庄町 466 番地
湖東保健センター内
○連絡は《能登川東小学校教室》へ

【ことばの教室とは……】

『ことばの教室』では、子どものもっている力を十分に伸ばし、より楽しく学習や集団生活をおくれるよう、ことば・コミュニケーションの力を高めるための指導や援助をしていく療育の場です。

【ことばの教室での指導】

対象：東近江市内在住でことばの発達に課題のある4・5歳児

- ★) 指導を受けるための費用はかかりません
- ★) 指導は所属園の学習の一環として、定期的におこないます
- ★) 基本的に週1回、45分の『個別指導』です
場合によってはグループ指導もおこないます
- ★) 指導のための検査を定期的におこないます
- ★) 保護者同伴のもとに指導をおこないます



【時間】

八日市南小学校教室

- ① 8:50～9:35
- ② 9:40～10:25
- ③ 10:45～11:30
- ④ 11:35～12:20
- ⑤ 13:55～14:40
- ⑥ 14:45～15:30
- ⑦ 15:35～16:20

能登川東小学校教室

- ① 8:50～9:35
- ② 9:40～10:25
- ③ 10:45～11:30
- ④ 11:35～12:20
- ⑤ 13:55～14:40
- ⑥ 14:45～15:30
- ⑦ 15:35～16:20

湖東保健センター教室

- ① 9:00～9:45
- ② 9:50～10:35
- ③ 10:50～11:35
- ④ 11:40～12:25
- ⑤ 14:00～14:45
- ⑥ 14:50～15:35
- ⑦ 15:40～16:25

※ 利用時間につきましては 面談の上 決定します

【指導の例】

Aさん

家 → ことばの教室へ

- 8:50 指導スタート
- ↳ 指導員と体を動かす
- 9:05 発音練習 など
- ↳ (聞き取り・発音練習)
- 9:30
- ↳ まとめ
- 9:35

→ 所属園へ

Bさん

～10時過まで所属園で活動
→ ことばの教室へ

- 10:45 指導スタート
- ↳ 保護者と遊び
- 10:55
- ↳ 指導員と遊び
- 11:15 後片付け
- ↳ 机上課題 など
- 11:25
- ↳ まとめ
- 11:30

→ 所属園へ

Cさん

降園後
→ ことばの教室へ

- 14:55
- ↳ グループ指導
- ↳ スタート
- 16:10
- ↳ まとめ
- 16:30



《このような子どもたちのために》



	子どもたちの様子	このようなことをします
①発音にあやまりのある子 ＊5～6歳までには獲得できるはずの音が未獲得である。	○子音を省略して母音化する (例:かめ→あめ、はっぱ→あっぱ) ○違う音に置き換える (例:せんせい→しえんしえい さかな→たかな、つみき→ちゅみき) ○その音らしく聞えるが、正しくない別の音に聞える (例:「き」→「ち」、「ぎ」→「じ」)	◇練習開始の時期は、指示の理解ができ、社会性や忍耐力がつく発達年齢が4歳ごろ ◇サ行、ザ行、シャ行、ジャ行は5歳。ラ行、ツ音は1年生まで待って練習を開始する ◇発音の間違いを指摘するのは練習の時だけにし、日常生活では一切注意しない
	○口蓋裂 ⇒上顎や上唇が割れているため、手術後も発音が不明瞭になる など	◇専門機関と連携しながら、発音指導を行う ◇吹く、噛む、吸う、舌の運動など「発声・発語」器官の機能を高める練習を行う など
②話しことばがスムーズに出てこない子 (吃音)	○ことばの初めの音を繰り返す ○ことばの初めの音を引き伸ばす ○ことばの出だしが詰まって言葉がなかなか出てこない ○まばたき、手を挙げるなどを伴ったり、吃ることの予測不安や恐れから話すことや場面から逃げる行動が見られる など	◇幼児期には、こころの安定を目指した親子関係を中心に環境調整を行う ◇学童期以上になったら、言葉の出にくさにこだわることなく、積極的に人と関わられるような意欲と自信を育てる親子の関わり方をアドバイスする など
③聴覚に障がいのある子	○難聴のためにことばの遅れや発音に問題のある子 ○聴覚-音声回路に問題があり、ことばの遅れやコミュニケーションに問題のある子 など	◇視線の合った時に話すなど、聞えないことを意識したコミュニケーションを大切にする ◇聞えないことを意識し、家族（特に母親）とのコミュニケーションを通してことばの発達を促す指導を行う など
④コミュニケーションの取りにくさがある子	○会話が上手くかみ合わない／相手の気持ちを押しはかたり状況理解ができにくく／場にそぐわない話をする／敬語が使えない など (コミュニケーション障がい) ○特定の状況でしか話せない (場面緘黙) ○ことばで自分の思いを上手く伝えられない (トラブルやパニックを起こしやすい)	◇リラックスした雰囲気を大切にし、緊張や不安を取り除くようにする ◇人と遊ぶ楽しさを共感し合うことを大切にする ◇状況も気持ちも言語化して伝えるようにする ◇緘黙の子の場合は、身振りやサインなど、意思の伝達方法からスモールステップでコミュニケーションの仕方を教える ◇視覚的な支援を活用する など
⑤その他	○話しことばの数が少ない／ことばの意味の理解ができにくい (言語発達遅滞) など	◇より良い親子関係を目指し、情緒の安定を図るようにする ◇子どもを主体にした遊びを通して、ことばを育てる ◇身振りやサインを使って分かりやすいことばで順番に話せるように促す など
	○失語症 ⇒病気や事故などでことばを失ったもの など	◇専門機関と連携しながら、指導を行う など



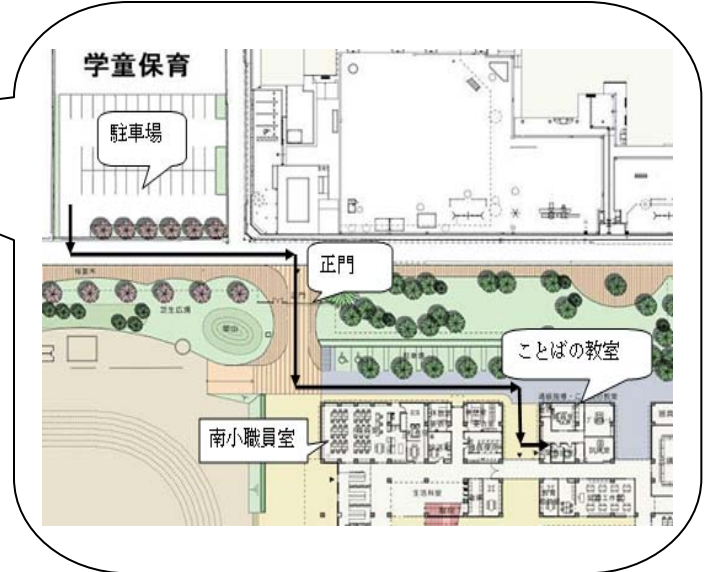
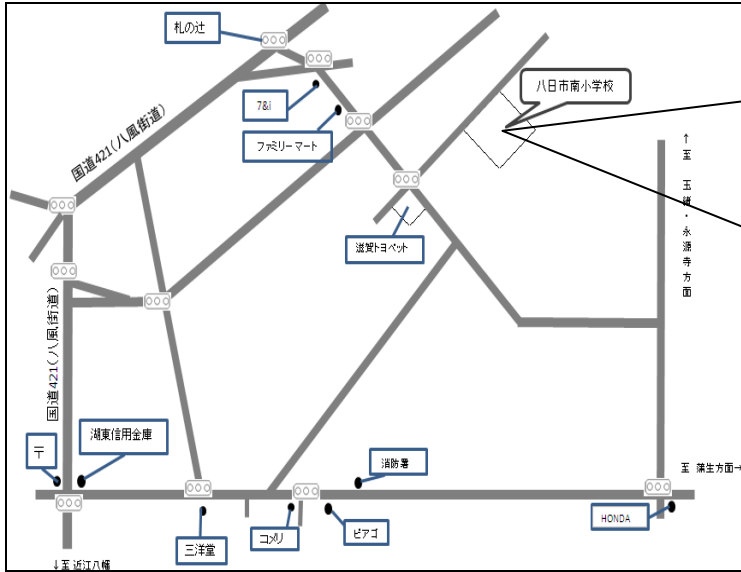
案内図

*上履きを持って来てください。

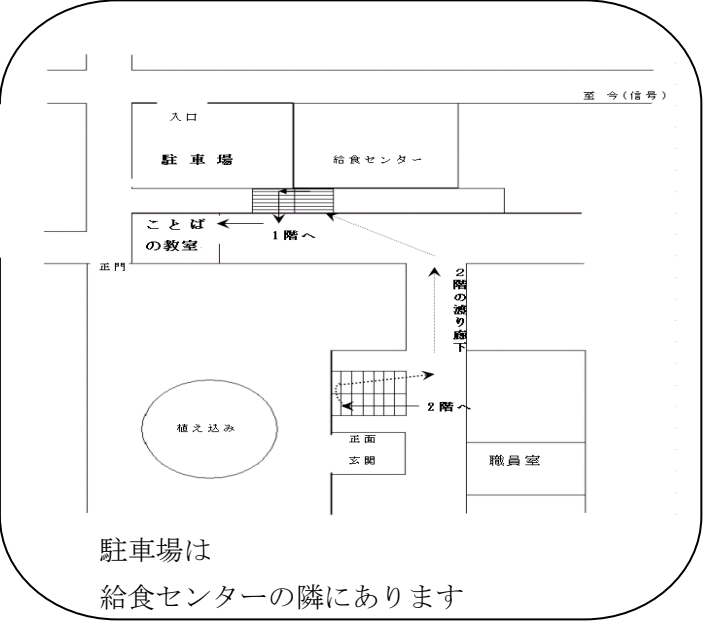
*能登川東小学校教室は、正面玄関から入り、

職員室で受付をしてから『ことばの教室』までお越しください。

八日市南小学校教室



能登川東小学校教室



湖東保健センター教室

